

注3

大学番号：私312

[平成30年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

届出

尚絅大学 現代文化学部 文化コミュニケーション学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人尚絅学園
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 教務課（武蔵ヶ丘キャンパス）

職名・氏名 キョウムカチョウ ヨシイ ユウジ
教務課長・吉井 裕治

電話番号 096-338-8840

（夜間） 同上

F A X 096-338-9301

e-mail kyomun@shokei-gakuen.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻（修士課程）」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

現代文化学部

＜文化コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	27
4. 既設大学等の状況	29
5. 教員組織の状況	31
6. 附帯事項等に対する履行状況等	45
7. その他全般的事項	49

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人尚綱学園

(2) 大学名

尚綱大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒861-8538
 熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1
 (〒862-8678)
 (熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6番78号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(イケミツ フカシ) 池満 淵 (平成24年10月)		
学長	(モリ マサト) 森 正人 (平成27年4月)	(ヤマガタ ユリコ) 山縣 ゆり子 (令和2年4月)	令和元年12月31日付け学長大熊 薫の辞職に伴い、令和2年1月1日～令和2年3月31日の間、林田俊一郎を学長代行に任命、同任期終了による変更(2)
学部長	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林田 俊一郎 (平成28年11月)	(クワバラ ヨシヤ) 桑原 芳哉 (平成31年4月)	林田俊一郎の任期満了に伴う変更(元)
学科長等	(ハヤシダ シュンイチロウ) 林田 俊一郎 (平成28年11月)	(クワバラ ヨシヤ) 桑原 芳哉 (平成31年4月)	林田俊一郎の任期満了に伴う変更(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)

令和2年度に報告する内容 → (2)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
現代文化学部 文化コミュニケーション学科 学士(文学)	文学関係	4年	75人	年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期											
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	75人 []	() []	75人 []	() []	75人 []	() []	0.55倍	—	
志願者数	() []	() []	() []	() []	61人 []	() []	64人 []	() []	94人 []	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	61人 []	() []	64人 []	() []	93人 []	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	61人 []	() []	63人 []	() []	92人 []	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	40人 []	() []	38人 []	() []	45人 []	() []			
入学定員超過率 B/A					0.53		0.5		0.61				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他の学期合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次					40人 [] (—)	() [] (—)	40人 [] (2)	() [] (—)	45人 [] (—)	() [] (—)	【令和2年度の状況】 ・ 1年次: 令和2年度入学45名 ・ 2年次: 令和元年度入学36名+平成30年度入学留年1名=37名 ・ 3年次: 平成30年度入学32名+令和2年度3年次編入学1名=33名
2年次					人 [] (—)	() [] (—)	35人 [] (1)	() [] (—)	37人 [] (1)	() [] (—)	
3年次					人 [] (—)	() [] (—)	人 [] (—)	() [] (—)	33人 [] (—)	() [] (—)	
4年次							人 [] (—)	() [] (—)	人 [] (—)	() [] (—)	
計					40人 [] (—)	() [] (—)	75人 [] (3)	() [] (—)	115人 [] (—)	() [] (—)	

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ ()内には、留学者の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 編入学や転入学も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	人	人	平成28年度	人	人	
平成29年度	人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
平成30年度	40人	3人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	3人	0人	進路変更(2人)、除籍(1人)
令和元年度	75人	6人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	4人	0人	進路変更(4人)
			令和元年度	2人	0人	進路変更(2人)
令和2年度	115人	0人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
			令和2年度	0人	0人	
合計		9人		9人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{40} = \boxed{7.5} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{75} = \boxed{8} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{115} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<現代文化学部 文化コミュニケーション学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
初年次教育	スタディスキル	1前	1				1					
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1				
	小計(2科目)	-	2	0	0	5	1	2	0	0	0	0
	日本語表現Ⅰ	1前	2						1			
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅱ	1後	2						1			
	クリティカル・リーディング	1後	2			3	2	1				
	クリティカル・シンキング	2前	2			1						
	小計(4科目)	-	8	0	0	4	2	1	2	0	0	0
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2									2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2								2
	国際日本学	1前		2		1						
	読書と豊かな人間性	4前		2		1						
小計(4科目)	-	2	6	0	2	0	0	0	0	0	4	
社会理解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1						
	経済と社会Ⅱ	2前		2								1
	経済と社会Ⅲ	3前		2								1
	政治と社会	1前	2				1					
	法と社会	1後		2			1					
	メディアリテラシー	1前		2			1					
	日本国憲法	2前		2			1					
	民法入門	2前		2			1					
	女性と社会	2前	2			1						
	アドミニストレーション入門	2後		2								1
	人権論	3後		2			1					
	簿記・会計Ⅰ	3前		2								1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2								1
小計(13科目)	-	6	20	0	2	6	0	0	0	0	5	
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1						
	日本文学史Ⅱ	1後		2		1						
	東アジア近現代史	1前		2			1					
	日本近現代史	2前		2								1
小計(4科目)	-	0	8	0	2	1	0	0	0	0	1	
生涯学習概論	1前		2		1							
図書館概論	1前		2									1

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学共通選修科目	熊本学	1前		1		1						
	日本伝統文化入門	1後		1								1
	小計(2科目)	-	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
初年次教育	スタディスキル	1前	1			1		1				1
	基礎セミナー	1前	1			8	2	1	1			
	小計(2科目)	-	2	0	0	9	2	2	1	0	0	1
	日本語表現Ⅰ	1前	2			1						
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅱ	1後	2				1					1
	クリティカル・リーディング	1後	2			3	1	1				
	クリティカル・シンキング	2前	2			1	1					1
	小計(4科目)	-	8	0	0	5	3	1	0	0	0	2
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2									2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2								2
	国際日本学	1前		2		1	1					
	読書と豊かな人間性	4前		2								1
小計(4科目)	-	2	6	0	1	1	0	0	0	0	5	
社会理解	経済と社会Ⅰ	1後	2									1
	経済と社会Ⅱ	2前		2								1
	経済と社会Ⅲ	3前		2								1
	政治と社会	1前	2					1				
	法と社会	1後		2				1				
	メディアリテラシー	1前		2				1				
	日本国憲法	2後		2				1				
	民法入門	3前		2				1				
	女性と社会	2前	2			1						
	アドミニストレーション入門	2後		2								1
	人権論	3後		2				1				
	簿記・会計Ⅰ	3前		2								1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2								1
小計(13科目)	-	6	20	0	1	6	0	0	0	0	6	
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1						
	日本文学史Ⅱ	1後		2						1		
	東アジア近現代史	1前		2		1						
	日本近現代史	2前		2								1
小計(4科目)	-	0	8	0	2	0	0	1	0	0	1	
生涯学習概論	1前		2									1
図書館概論	1前		2		1							

	社会調査法実習Ⅱ	4後		2			1													
	小計(11科目)	-	2	20	0	12	7	2	2	0	0									
実践 外国語 科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1													
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1													
	検定中国語Ⅲ	3後		2			1													1
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2			2													
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2			1													
	中国語通訳・翻訳演習	3後		2																1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2			1													
	検定韓国語Ⅱ	3前		2			1													
	検定韓国語Ⅲ	3後		2			1													
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2																1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2																1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2																1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2			1	1	1											
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2			1	1	1											
TOEIC PreparationⅠ	2後		2			1													1	
TOEIC PreparationⅡ	3前		2			1													1	
小計(16科目)	-	0	32	0	7	8	2	0	0	0	4									
文芸 文化	名跡鑑賞	2後		2			1													
	表現ワークショップⅠ	2後		2																1
	表現ワークショップⅡ	3前		2																1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2			1													1
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2			1													
	表現文化概論	2後		2																1
	中国古典文化概論	2後		2				1												
	書写・書道Ⅰ	3前		1			1													
	書写・書道Ⅱ	3後		1			1													
	アジア書記史Ⅰ	3後		2			1													
	アジア書記史Ⅱ	4前		2			1													
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2			1													
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2			1													
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2																1
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2																1
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2				1												
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2				1												
小計(17科目)	-	0	32	0	9	3	0	3	0	2										
情報 デザイン 論	情報デザイン論	2後		2																1
	ジェンダー表象論	2後		2			1			1										1
	映像表現論	2後		2			1													
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1													1
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1													
	小計(6科目)	-	0	12	0	4	3	0	2	0	2									

	社会調査法実習Ⅱ	4後		2																1
	小計(11科目)	-	2	20	0	4	3	2	0	0	5									
実践 外国語 科目	検定中国語Ⅰ	2後		2			1													
	検定中国語Ⅱ	3前		2			1													
	検定中国語Ⅲ	3後		2																1
	ビジネス中国語Ⅰ	2後		2																1
	ビジネス中国語Ⅱ	3前		2																
	中国語通訳・翻訳演習	3後		2																1
	検定韓国語Ⅰ	2後		2			1													
	検定韓国語Ⅱ	3前		2			1													
	検定韓国語Ⅲ	3後		2			1													
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後		2																1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前		2																1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後		2																1
	ビジネス英語Ⅰ	3後		2				1												
	ビジネス英語Ⅱ	3後		2			1	1	1											
TOEIC PreparationⅠ	2後		2																1	
TOEIC PreparationⅡ	3前		2																1	
小計(16科目)	-	0	32	0	5	5	3	0	0	5										
文芸 文化	名跡鑑賞	2後		2			1													
	表現ワークショップⅠ	2後		2																1
	表現ワークショップⅡ	3前		2																1
	声の文化論演習Ⅰ	2後		2			1													1
	声の文化論演習Ⅱ	3前		2			1													
	表現文化概論	2後		2																1
	中国古典文化概論	2後		2				1												
	書写・書道Ⅰ	3前		1			1													
	書写・書道Ⅱ	3後		1			1													
	アジア書記史Ⅰ	3後		2			1													
	アジア書記史Ⅱ	4前		2			1													
	日本伝統文化史講義Ⅰ	3前		2			1													
	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後		2			1													
	文芸文化論講義Ⅰ	3前		2																1
	文芸文化論講義Ⅱ	3後		2																1
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前		2				1												
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後		2				1												
小計(17科目)	-	0	32	0	8	3	0	4	0	2										
情報 デザイン 論	情報デザイン論	2後		2																1
	ジェンダー表象論	2後		2			1			1										1
	映像表現論	2後		2			1													
	アート表現論Ⅰ	2後		2			1													1
	アート表現論Ⅱ	3前		2			1													
	小計(6科目)	-	0	12	0	4	3	0	2	0	2									

卒業論文・卒業研究		4通	6			9	8	2	1		
小計(3科目)		-	10	0	0	27	24	6	3	0	0
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2	1					
	図書館制度・経営論	1後			2	1					
	図書館サービス概論	2前			2	1					
	情報サービス演習(A)	2前			1					1	
	情報サービス演習(B)	2後			1					1	
	図書館情報資源概論	3前			2						1
	情報資源組織論	3前			2	1					
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1					
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1					
	図書館情報資源特論	4前			1	1					
	図書館基礎特論	4前			1						1
	図書・図書館史	4後			1						1
	図書館実習	4通			1	1					
小計(13科目)		-	0	0	18	8	0	0	0	0	5
合計(188科目)		-	44	277	18	119	101	29	15	0	39
卒業要件及び履修方法											
<教養教育科目>											
1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。											
2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。											
3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。											
<専門教育科目>											
1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。											
2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。											
3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。											
4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。											
5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))											

卒業論文・卒業研究		4通	6			9	6	2	1		
小計(3科目)		-	10	0	0	27	18	6	3	0	0
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2	1					
	図書館制度・経営論	1後			2						1
	図書館サービス概論	2前			2						1
	情報サービス演習(A)	2後			1	1					
	情報サービス演習(B)	2後			1						1
	図書館情報資源概論	3前			2						1
	情報資源組織論	3前			2	1					
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1					
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1					
	図書館情報資源特論	4前			1	1					
	図書館基礎特論	4前			1	1					
	図書・図書館史	4後			1						1
	図書館実習	4通			1	1					
小計(13科目)		-	0	0	18	8	0	0	0	0	5
合計(197科目)		-	44	286	18	123	84	28	11	0	70
卒業要件及び履修方法											
<教養教育科目>											
1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。											
2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。											
3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。											
<専門教育科目>											
1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。											
2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。											
3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。											
4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上修得。											
5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
(Blank area for平成30年度)										
初年次教育	スタディスキル	1前	1				1	1		
	基礎セミナー	1前	1			5	1	1		
	小計(2科目)	-	2	0	0	5	1	2	1	0
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2				1			
	日本語表現Ⅱ	1後	2				1			
	クリティカル・リーディング	1後	2			1	3	2	1	
	クリティカル・シンキング	2前	2			1				
	小計(4科目)	-	8	0	0	2	5	2	1	0
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2							2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2						2
	国際日本学	1前		2		1				
	読書と豊かな人間性	4前		2						1
	小計(4科目)	-	2	6	0	1	0	0	0	0
社会理解	経済と社会Ⅰ	1前	2			1				
	経済と社会Ⅱ	2前		2						1
	経済と社会Ⅲ	3前		2						1
	政治と社会	1前	2				1			
	法と社会	1後	2				1			
	メディアリテラシー	1前	2				1			
	日本国憲法	2前		2			1			
	民法入門	2前		2			1			
	女性と社会	2前	2				1			
	アドミニストレーション入門	2後		2						1
	人権論	3後		2			1			
	簿記・会計Ⅰ	3前		2						1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2						1
小計(13科目)	-	6	20	0	1	7	0	0	0	5
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2		1				
	日本文学史Ⅱ	1後		2				1		
	東アジア近現代史	1前		2			1			
	日本近現代史	2前		2						1
	小計(4科目)	-	0	8	0	1	1	0	1	0
心理・教育	生涯学習概論	1前		2						1
	図書館概論	1前		2		1				
	生涯発達心理学	2前		2						1
	児童サービス論	2後		2						1
	教育心理学	3前		2						1
	特別支援教育概論	3後		2						1
小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	5
調査分析基	基礎数学Ⅰ	1前		2			1			
	基礎数学Ⅱ	1後		2			1			
	情報処理Ⅰ	1前		1			1			
	情報処理Ⅱ	1後		1			1			
	課題探求プロジェクト入門	1後	2				1		1	
	社会調査法	1前		2			1			
	基礎統計Ⅰ	2前		2			1			

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	
全学共通開講科目	熊本学	1前		1			1	1		
	日本伝統文化入門	1後		1						1
	小計(2科目)	-	0	2	0	1	1	0	0	0
初年次教育	スタディスキル	1前	1				1		1	
	基礎セミナー	1前	1				6	3	1	1
	小計(2科目)	-	2	0	0	7	3	2	1	0
日本語運用能力養成	日本語表現Ⅰ	1前	2				1	1		
	日本語表現Ⅱ	1後	2					1		1
	クリティカル・リーディング	1後	2				2	1	2	
	クリティカル・シンキング	2前	2				1	1		1
	小計(4科目)	-	8	0	0	4	4	2	1	0
文化理解	日本伝統文化Ⅰ	1後	2							2
	日本伝統文化Ⅱ	2前		2						2
	国際日本学	1前		2		1	1			
	読書と豊かな人間性	4前		2						1
	小計(4科目)	-	2	6	0	1	1	0	0	0
社会理解	経済と社会Ⅰ	1前	2							1
	経済と社会Ⅱ	2前		2						1
	経済と社会Ⅲ	3前		2						1
	政治と社会	1前	2					1		
	法と社会	1後	2					1		
	メディアリテラシー	1前	2					1		
	日本国憲法	2前		2				1		
	民法入門	2前		2				1		
	女性と社会	2前	2					1		
	アドミニストレーション入門	2後		2						1
	人権論	3後		2				1		
	簿記・会計Ⅰ	3前		2						1
	簿記・会計Ⅱ	3後		2						1
小計(13科目)	-	6	20	0	0	7	0	0	0	6
文学・歴史	日本文学史Ⅰ	1前		2			1			
	日本文学史Ⅱ	1後		2					1	
	東アジア近現代史	1前		2				1		
	日本近現代史	2前		2						1
	小計(4科目)	-	0	8	0	1	1	0	1	0
心理・教育	生涯学習概論	1前		2						1
	図書館概論	1前		2			1			
	生涯発達心理学	2前		2						1
	児童サービス論	2後		2						1
	教育心理学	3前		2						1
	特別支援教育概論	3後		2						1
小計(6科目)	-	0	12	0	1	0	0	0	0	5
調査分析基	基礎数学Ⅰ	1前		2				1		
	基礎数学Ⅱ	1後		2				1		
	情報処理Ⅰ	1前		1				1		
	情報処理Ⅱ	1後		1				1		
	課題探求プロジェクト入門	1後	2						1	1
	社会調査法	1前		2				1		
	基礎統計Ⅰ	2前		2				1		

基礎	基礎統計Ⅱ	2後	2		1						
	情報サービス論	2前	2		1						
	質的調査法	2前	2				1				
	応用統計	3後	2		1						
	小計(11科目)	-	4	16	0	3	7	0	2	0	0
多文化コミュニケーション	Communicative Grammar I	1前	1		1	1	1				
	Communicative Grammar II	1後	1		1	1	1				
	Communicative Grammar III	2前	1		1	1	1				
	Communication Workshop I	1前	1		1	1	1				
	Communication Workshop II	1後	1		1	1	1				
	Communication Workshop III	2前	1		1	1	1				
	初級中国語Ⅰ	1前	1			2					
	初級中国語Ⅱ	1前	1			1				1	
	初級中国語Ⅲ	1後	1			2					
	初級中国語Ⅳ	1後	1			1				1	
	中国語コミュニケーションⅠ	2前	1			1				1	
	中国語コミュニケーションⅡ	2前	1			1				1	
	初級韓国語Ⅰ	1前	1			1				1	
	初級韓国語Ⅱ	1前	1			1				1	
	初級韓国語Ⅲ	1後	1			1				1	
	初級韓国語Ⅳ	1後	1			1				1	
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前	1			1				1	
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前	1			1				2	
	海外語学研修(中国語)	1後	1			1					
	海外語学研修(韓国語)	1後	1			1					
小計(20科目)	-	6	14	0	12	15	6	0	0	11	
日本語教育	日本語学概論	1後	2			1					
	音声言語	2前	2			1					
	日本語史	4前	2		1						
	心理言語学	2前	2			1					
	日本語教育文法	3前	2			1					
	日本語教授法	3後	2			1					
	ことばと社会	4前	2		1						
	日本語教育実習	4前	2			1					
小計(8科目)	-	0	16	0	2	6	0	0	0	0	
体育	体育Ⅰ	1前	1							1	
	体育Ⅱ	1後	1							1	
小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
キャリア形成	キャリア形成入門	1後	2								1
	キャリアデザインⅠ	2前	1					1			
	キャリアデザインⅡ	2後	1					1			
	インターンシップ	3前	1		1						
	小計(4科目)	-	4	1	0	1	0	0	2	0	1
社会コミュニケーション論入門	1後	2		1							
言語表現文化論入門	1後	2		1					1		

基礎	基礎統計Ⅱ	2後	2		1						
	情報サービス論	2前	2		1						
	質的調査法	2前	2					1			
	応用統計	3後	2		1						
	小計(11科目)	-	4	16	0	3	7	0	0	0	2
多文化コミュニケーション	Communicative Grammar I	1前	1		1	1	1				
	Communicative Grammar II	1後	1		1	1	1				
	Communicative Grammar III	2前	1		1	1	1				
	Communication Workshop I	1前	1		1	1	1				
	Communication Workshop II	1後	1		1	1	1				
	Communication Workshop III	2前	1		1	1	1				
	初級中国語Ⅰ	1前	1			2					
	初級中国語Ⅱ	1前	1			1				2	
	初級中国語Ⅲ	1後	1			2					
	初級中国語Ⅳ	1後	1			1				1	
	中国語コミュニケーションⅠ	2前	1			1				1	
	中国語コミュニケーションⅡ	2前	1			1				1	
	初級韓国語Ⅰ	1前	1			1				1	
	初級韓国語Ⅱ	1前	1			1				1	
	初級韓国語Ⅲ	1後	1			1				1	
	初級韓国語Ⅳ	1後	1			1				1	
	韓国語コミュニケーションⅠ	2前	1			1				1	
	韓国語コミュニケーションⅡ	2前	1			1				2	
	海外語学研修(中国語Ⅰ)	1通	1			1					
	海外語学研修(中国語Ⅱ)	1通	1			1					
	海外語学研修(韓国語Ⅰ)	1通	1			1					
	海外語学研修(韓国語Ⅱ)	1通	1			1					
	海外語学研修(英語)	1通	1						2		
小計(23科目)	-	6	17	0	13	19	6	0	0	10	
日本語教育	日本語学概論	1後	2			1					
	音声言語	2前	2			1					
	日本語史	4前	2		1						
	心理言語学	2前	2			1					
	日本語教育文法	3前	2			1					
	日本語教授法	3後	2			1					
	ことばと社会	4前	2		1						
	日本語教育実習	4前	2			1					
小計(8科目)	-	0	16	0	2	6	0	0	0	0	
体育	体育Ⅰ	1前	1								1
	体育Ⅱ	1後	1								1
小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	2	
キャリア形成	キャリア形成入門	1後	2								1
	キャリアデザインⅠ	2前	1					1			
	キャリアデザインⅡ	2後	1					1			
	インターンシップ	3前	1		1						
	小計(4科目)	-	4	1	0	2	1	0	0	0	1
社会コミュニケーション論入門	1後	2		1							
言語表現文化論入門	1後	2		1					1		

専門 導入 科目	情報メディア表現文化論入門	1後	2	1						
	観光文化学入門	1後	2		1					
	アジア事情	2前	2	1	1					
	文学研究概論	2前	2	1						
	メディア表現論	2前	2		1					
	観光文化論	2前	2			1				
小計(8科目)		0	16	0	5	2	2	0	0	0
共通 実践 科目	社会学概論	2後	2		1					
	マーケティング論	2後	2	1						
	プレゼンテーション概論	2後	2		1					
	プレゼンテーション演習	3前	2		1					
	社会コミュニケーション実践論	2前	2	1						
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2		2	2	1	1		
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後	2		2	2	1	1		
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後	2	1						
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後	2	1						
	社会調査法実習Ⅰ	4前	2		1					
	社会調査法実習Ⅱ	4後	2					1		
小計(11科目)		2	20	0	8	8	2	3	0	0
実践 外国 語科 目	検定中国語Ⅰ	2後	2		1					
	検定中国語Ⅱ	3前	2		1					
	検定中国語Ⅲ	3後	2		1					
	ビジネス中国語Ⅰ	2後	2		2					
	ビジネス中国語Ⅱ	3前	2		1					
	中国語通訳・翻訳演習	3後	2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後	2	1						
	検定韓国語Ⅱ	3前	2	1						
	検定韓国語Ⅲ	3後	2	1						
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後	2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前	2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後	2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後	2	1	1	1				
	ビジネス英語Ⅱ	3後	2	1	1	1				
TOEIC PreparationⅠ	2後	2		1						
TOEIC PreparationⅡ	3前	2		1						
小計(16科目)		0	32	0	7	8	2	0	0	4
文芸 文化	名跡鑑賞	2後	2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後	2							1
	表現ワークショップⅡ	3前	2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後	2				1			
	声の文化論演習Ⅱ	3前	2	1						
	表現文化概論	2後	2				1			
	中国古典文化概論	2後	2		1					
	書写・書道Ⅰ	3前	1	1						
	書写・書道Ⅱ	3後	1	1						
	アジア書記史Ⅰ	3後	2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前	2		1					
日本伝統文化史講義Ⅰ	3前	2		1						

専門 導入 科目	情報メディア表現文化論入門	1後	2		1					
	観光文化学入門	1後	2				1			
	アジア事情	2前	2	1	2					
	文学研究概論	2前	2	1	1			1		
	メディア表現論	2前	2		1					
	観光文化論	2前	2					1		
小計(8科目)		-	0	16	0	5	4	2	2	0
共通 実践 科目	社会学概論	2後	2		1					
	マーケティング論	2後	2	1						
	プレゼンテーション概論	2後	2		1					
	プレゼンテーション演習	3前	2		1					
	社会コミュニケーション実践論	2前	2	1						
	課題探求プロジェクト演習Ⅰ	3前	2		2	2	1			1
	課題探求プロジェクト演習Ⅱ	3後	2		2	2	1			1
	地域マネジメント研修Ⅰ	3後	2	1						
	地域マネジメント研修Ⅱ	3後	2	1						
	社会調査法実習Ⅰ	4前	2		1					
	社会調査法実習Ⅱ	4後	2							1
小計(11科目)		-	2	20	0	9	7	2	0	3
実践 外国 語科 目	検定中国語Ⅰ	2後	2		1					
	検定中国語Ⅱ	3前	2		1					
	検定中国語Ⅲ	3後	2		1					
	ビジネス中国語Ⅰ	2後	2		2					
	ビジネス中国語Ⅱ	3前	2		1					
	中国語通訳・翻訳演習	3後	2							1
	検定韓国語Ⅰ	2後	2	1						
	検定韓国語Ⅱ	3前	2	1						
	検定韓国語Ⅲ	3後	2	1						
	ビジネス韓国語Ⅰ	2後	2							1
	ビジネス韓国語Ⅱ	3前	2							1
	韓国語通訳・翻訳演習	3後	2							1
	ビジネス英語Ⅰ	3後	2	1	1	1				
	ビジネス英語Ⅱ	3後	2	1	1	1				
TOEIC PreparationⅠ	2後	2						1		
TOEIC PreparationⅡ	3前	2		1						
小計(16科目)		-	0	32	0	6	8	3	0	4
文芸 文化	名跡鑑賞	2後	2		1					
	表現ワークショップⅠ	2後	2							1
	表現ワークショップⅡ	3前	2							1
	声の文化論演習Ⅰ	2後	2						1	
	声の文化論演習Ⅱ	3前	2	1						
	表現文化概論	2後	2						1	
	中国古典文化概論	2後	2		1					
	書写・書道Ⅰ	3前	1	1						
	書写・書道Ⅱ	3後	1	1						
	アジア書記史Ⅰ	3後	2		1					
	アジア書記史Ⅱ	4前	2		1					
日本伝統文化史講義	3前	2		1						

	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後	2	1																
	文芸文化論講義Ⅰ	3前	2				1													
	文芸文化論講義Ⅱ	3後	2					1												
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前	2			1														
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後	2			1														
	小計(17科目)		0	32	0	8	3	0	4	0	2									
情報メディア文化	情報デザイン論	2後	2								1									
	ジェンダー表象論	2後	2			1			1											
	映像表現論	2後	2		1															
	アート表現論Ⅰ	2後	2			1														1
	アート表現論Ⅱ	3前	2			1														
	情報社会論	3前	2			1														
	メディア文化論	3前	2		1															
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前	2		1															
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後	2		1															
	マンガ表現論Ⅰ	3後	2			1														
	マンガ表現論Ⅱ	4前	2			1														
	Webデザイン演習Ⅰ	3前	1		1															
	Webデザイン演習Ⅱ	3前	1		1															
	文化社会学	3前	2			1														
	ソーシャルメディア論	4前	2			1														
映像と音響	4後	2		1																
ファッション文化史	4後	2																	1	
小計(17科目)		0	32	0	7	8	0	1	0	2										
日本・東アジア社会文化	東アジア関係史	2後	2			1														
	国際関係論	2後	2			1														
	日中文化交流史	2後	2			1														
	日本伝統文化論	2前	2		1															
	異文化理解	2後	2			1														
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後	2				1													
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前	2				1													
	中国社会文化論	3前	2			1														
	韓国社会文化論	3前	2		1															
	台湾社会文化論	3前	2			1														
	東南アジア社会文化論	3後	2			1														
	アジア経済論	4前	2			1														
	熊本の文化Ⅰ	3前	2		1															
	熊本の文化Ⅱ	3後	2		1															
	熊本国際交流史	2後	2			1	1													1
多文化共生論	3後	2			1															
国際社会と女性	4前	2			1															
ものづくり論	4後	2																	1	
小計(18科目)		0	36	0	4	11	3	0	0	1										
観光文化	観光総論	2後	2		1		1													
	観光産業論	2後	2				1													1
	コンテンツ・ツーリズム論	3前	2				1													
	観光実務	3後	2		1		1													
	インバウンド・ツーリズム論	3後	2			1														
	旅行業法規	4前	2				1													
	フード・ツーリズム論	4前	2																	1

	日本伝統文化史講義Ⅱ	3後	2	1																
	文芸文化論講義Ⅰ	3前	2							1										
	文芸文化論講義Ⅱ	3後	2								1									
	中国古典文化論講義Ⅰ	3前	2			1														
	中国古典文化論講義Ⅱ	3後	2			1														
	小計(17科目)		0	32	0	8	3	0	4	0	2									
情報メディア文化	情報デザイン論	2後	2								1									
	ジェンダー表象論	2後	2			1			1											1
	映像表現論	2後	2		1															
	アート表現論Ⅰ	2後	2			1														1
	アート表現論Ⅱ	3前	2			1														
	情報社会論	3前	2			1														
	メディア文化論	3前	2		1															
	映画とアニメーション史Ⅰ	3前	2		1															
	映画とアニメーション史Ⅱ	3後	2		1															
	マンガ表現論Ⅰ	3後	2			1														
	マンガ表現論Ⅱ	4前	2			1														
	Webデザイン演習Ⅰ	3前	1		1															
	Webデザイン演習Ⅱ	3前	1		1															
	文化社会学	3前	2			1														
	ソーシャルメディア論	4前	2			1														
映像と音響	4後	2		1																
ファッション文化史	4後	2																	1	
小計(17科目)		0	32	0	7	8	0	1	0	4										
日本・東アジア社会文化	東アジア関係史	2後	2			1														
	国際関係論	2後	2			1														
	日中文化交流史	2後	2			1														
	日本伝統文化論	2前	2		1															
	異文化理解	2後	2			1														
	地域コミュニティ創造論演習Ⅰ	2後	2				1													
	地域コミュニティ創造論演習Ⅱ	3前	2				1													
	中国社会文化論	3前	2			1														
	韓国社会文化論	3前	2		1															
	台湾社会文化論	3前	2			1														
	東南アジア社会文化論	3後	2			1														
	アジア経済論	4前	2			1														
	熊本の文化Ⅰ	3前	2		1															
	熊本の文化Ⅱ	3後	2		1															
	熊本国際交流史	2後	2			1	1													1
多文化共生論	3後	2			1															
国際社会と女性	4前	2			1															
ものづくり論	4後	2																	1	
小計(18科目)		0	36	0	4	11	3	0	0	2										
観光文化	観光総論	2後	2		1		1													
	観光産業論	2後	2				1													1
	コンテンツ・ツーリズム論	3前	2				1													
	観光実務	3後	2		1		1													
	インバウンド・ツーリズム論	3後	2			1														
	旅行業法規	4前	2				1													
	フード・ツーリズム論	4前	2																	1

小計(7科目)		0	14	0	2	0	6	0	0	1
演習・卒業論文	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2		8	8	2	3		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2		8	8	2	3		
	卒業論文・卒業研究	4通	6		8	8	2	3		
	小計(3科目)	-	10	0	0	24	24	6	9	0
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2					1
	図書館制度・経営論	1後			2	1				
	図書館サービス概論	2前			2					1
	情報サービス演習(A)	2前			1	1				
	情報サービス演習(B)	2後			1					1
	図書館情報資源概論	3前			2					1
	情報資源組織論	3前			2	1				
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1				
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1				
	図書館情報資源特論	4前			1	1				
	図書館基礎特論	4前			1	1				
	図書・図書館史	4後			1					1
	図書館実習	4通			1	1				
小計(13科目)	-	0	0	18	8	0	0	0	0	5
合計(188科目)	-	44	277	18	102	106	31	24	0	45
卒業要件及び履修方法										
<教養教育科目> 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 <専門教育科目> 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上を修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上を修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))										

小計(7科目)		0	14	0	2	0	5	0	0	2
演習・卒業論文	表現コミュニケーション演習Ⅰ	3前	2		8	8	2	1		
	表現コミュニケーション演習Ⅱ	3後	2		8	8	2	1		
	卒業論文・卒業研究	4通	6		8	8	2	1		
	小計(3科目)	-	10	0	0	24	24	6	3	0
司書に関する科目	図書館情報技術論	1後			2	1				
	図書館制度・経営論	1後			2					1
	図書館サービス概論	2前			2					1
	情報サービス演習(A)	2前			1	1				
	情報サービス演習(B)	2後			1					1
	図書館情報資源概論	3前			2					1
	情報資源組織論	3前			2	1				
	情報資源組織演習(A)	3後			1	1				
	情報資源組織演習(B)	3後			1	1				
	図書館情報資源特論	4前			1	1				
	図書館基礎特論	4前			1	1				
	図書・図書館史	4後			1					1
	図書館実習	4通			1	1				
小計(13科目)	-	0	0	18	8	0	0	0	0	5
合計(193科目)	-	44	282	18	107	114	31	13	0	57
卒業要件及び履修方法										
<教養教育科目> 1. 教養教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから40単位以上を修得すること。 2. 多文化コミュニケーション領域における選択必修科目については、中国語又は韓国語科目のいずれかを選択したうえで、選択した言語に関するすべての科目を履修しなければならない。 3. 「生涯学習概論」、「図書館概論」、「児童サービス論」、「情報サービス論」については、司書に関する科目としても取り扱う。 <専門教育科目> 1. 専門教育科目は、必修科目、選択必修科目及び選択科目のうちから84単位以上を修得。 2. 専門導入科目については、8単位以上を修得。 3. 共通実践科目については、12単位以上を修得。 4. 「文芸文化」、「情報メディア文化」及び「日本・東アジア社会文化」のいずれかの領域を主たる領域として選択した学生は、主たる領域の授業科目から20単位以上、及びそれ以外の領域の授業科目から、選択必修科目を8単位以上を修得。 5. 「観光文化」領域を主たる領域として選択した学生は、「観光文化」領域の14単位をすべて履修。また、実践外国語科目から6単位以上、及び「観光文化」以外の領域の授業科目から10単位以上を修得。(履修科目の登録の上限：45単位(年間))										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・授業規模の適正化の理由により、「スタディスキル」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師1、助教1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1」から「教授1、准教授3、講師2、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「読書と豊かな人間性」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「女性と社会」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「日本文学史Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・届出時の誤謬により、「東アジア近現代史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「生涯学習概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「図書館概論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「生涯発達心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「児童サービス論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「教育心理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報サービス論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「初級中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・産休による担当教員の休職により、「キャリア形成入門」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「プレゼンテーション演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、助教1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師2、助教1」に変更。
- ・担当教員の就任辞退の理由により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「声の文化論演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1、講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化の理由により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・担当教員の退職及び授業規模の適正化により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授9、准教授8、講師2、助教1」から「教授8、准教授9、講師1、助教3」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館情報技術論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館サービス概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「情報サービス演習(A)」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「図書館基礎特論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。

【令和元年度】

- ・教育効果向上の理由により、全学共通科目として「熊本学」を新規開設。専任教員等の配置は「教授1、准教授1」。
- ・教育効果向上の理由により、全学共通科目として「日本伝統文化入門」を新規開設。専任教員等の配置は「兼任1」。
- ・担当教員の他学部への配置換え及び教育効果向上の理由により、「スタディスキル」の専任教員等の配置を「講師1、助教1」から「教授1、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「基礎セミナー」の専任教員等の配置を「教授5、准教授1、講師1」から「教授6、准教授3、講師1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「日本語表現Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換え及び授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・リーディング」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3、講師1、助教1」から「教授2、准教授1、講師2」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「クリティカル・シンキング」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1、兼任1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「国際日本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「経済と社会Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「質的調査法」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「初級中国語Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任1」から「准教授2」に変更。
- ・複数回の留学に対応するため、「海外語学研修(中国語)」を「海外語学研修(中国語Ⅰ)」及び「海外語学研修(中国語Ⅱ)」の2科目に変更。専任教員等の配置はいずれも「准教授1」。
- ・複数回の留学に対応するため、「海外語学研修(韓国語)」を「海外語学研修(韓国語Ⅰ)」及び「海外語学研修(韓国語Ⅱ)」の2科目に変更。専任教員等の配置はいずれも「教授1」。
- ・語学研修の効果向上の理由により、「海外語学研修(英語)」を新規配当。専任教員等の配置は「准教授2」。
- ・担当教員の退職により、「キャリアデザインⅠ」の専任教員等の配置を「助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の退職により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員等の配置を「助教1」から「准教授1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「言語表現文化論入門」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「アジア事情」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」から「教授1、准教授2」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「文学研究概論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1、助教1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授2、講師1、助教1」から「教授2、准教授2、講師1、兼任1」に変更。
- ・担当教員の他学部への配置換えの理由により、「社会調査法実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教1」から「兼任1」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「TOEIC PreparationⅠ」の専任教員等の配置を「教授1」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の退職及び教育効果向上の理由により、「ジェンダー表象論」の専任教員等の配置を「教授1、助教1」から「教授1、助教1、兼任1」に変更。

- ・教育効果向上の理由により、「アート表現論Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「准教授Ⅰ、兼任Ⅰ」に変更。
- ・授業規模の適正化の理由により、「熊本国際交流史」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ、講師Ⅰ」から「准教授Ⅰ、講師Ⅰ、兼任Ⅰ」に変更。
- ・時間割編成の都合により、「観光産業論」の専任教員等の配置を「講師Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅲ」を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅲ」を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」に変更。
- ・担当教員の退職及び他学部への配置換えの理由により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員等の配置を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅲ」を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館情報技術論」の専任教員等の配置を「兼任Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更。
- ・時間割編成の都合により「図書館制度・経営論」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更。

【令和２年度】

- ・時間割編成の都合により、「熊本学」の専任教員の配置を「教授Ⅰ、准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・教育効果向上のため、「基礎セミナー」の専任教員の配置を「教授Ⅵ、准教授Ⅲ、講師Ⅰ、助教Ⅰ」から「教授Ⅷ、准教授Ⅱ、講師Ⅰ、助教Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日本語表現Ⅰ」の専任教員の配置を「教授Ⅰ、准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルリーディング」の専任教員の配置を「教授Ⅱ、准教授Ⅰ、講師Ⅱ」から「教授Ⅲ、准教授Ⅰ、講師Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「クリティカルシンキング」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ、准教授Ⅰ、助教Ⅰ、兼任Ⅰ」から「教授Ⅰ、准教授Ⅰ、兼任Ⅰ」に変更
- ・「民法入門」の配当年次を「２前」から「３前」に変更
- ・担当教員（教授）の採用により、「女性と社会」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員が教授昇任により、「東アジア近現代史」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎数学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎数学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎統計Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の退職により、「基礎統計Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授Ⅱ」を「教授Ⅰ、准教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授Ⅱ」から「教授Ⅰ、准教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅲ」の専任教員の配置を「准教授Ⅱ」から「教授Ⅰ、准教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「初級中国語Ⅳ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ、兼任Ⅰ」から「教授Ⅰ、兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「中国語コミュニケーションⅠ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ、兼任Ⅰ」から「教授Ⅰ、兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「海外語学研修（中国語）Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「海外語学研修（中国語）Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・教育効果向上のため、講師Ⅰによる「Fundamentals of EnglishⅠ」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、准教授Ⅰによる「Fundamentals of EnglishⅡ」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、教授Ⅰによる「総合中国語」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・教育効果向上のため、教授Ⅰによる「総合韓国語」を開講し習熟度の低い学生に対応する科目を新設
- ・時間割編成の都合により、「キャリアデザインⅡ」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員の退職により、「社会コミュニケーション論入門」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「アジア事情」の専任教員の配置を「教授Ⅰ、准教授Ⅱ」から「教授Ⅱ、准教授Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション概論」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」から「教授Ⅰ、兼任Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「プレゼンテーション演習」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「社会コミュニケーション実践論」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「課題探求プロジェクト演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授Ⅱ、准教授Ⅱ、講師Ⅰ、兼任Ⅰ」から「准教授Ⅰ、講師Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「課題探求プロジェクト演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授Ⅱ、准教授Ⅱ、講師Ⅰ、兼任Ⅰ」から「教授Ⅰ、講師Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「検定中国語Ⅱ」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「検定中国語Ⅲ」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス中国語Ⅰ」の専任教員の配置を「准教授Ⅱ」を「准教授Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ビジネス英語Ⅰ」の専任教員の配置を「教授Ⅰ、准教授Ⅰ、講師Ⅰ」から「准教授Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「TOEIC PreparationⅡ」の専任教員の配置を「教授Ⅰ」から「講師Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「ジェンダー表象論」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ、助教Ⅰ、兼任Ⅰ」から「准教授Ⅱ、兼任Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「Webデザイン演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「Webデザイン演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「東アジア関係史」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「国際関係論」の専任教員等の配置を「准教授Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「日中文化交流史」准教授Ⅰを兼任Ⅰに変更した。
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅰ」の専任教員の配置を「講師Ⅰ」から「教授Ⅰ、講師Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「地域コミュニティ創造論演習Ⅱ」の専任教員の配置を「講師Ⅰ」から「教授Ⅰ、講師Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「中国社会文化論」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ、准教授Ⅱ」に変更
- ・担当教員の教授昇任により、「台湾社会文化論」の専任教員の配置を「准教授Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・時間割編成の都合により、「観光実務」の専任教員等の配置を「教授Ⅰ、講師Ⅰ」から「兼任Ⅰ」に変更
- ・担当教員（教授）の採用により、「インバウンド・ツーリズム論」の専任教員の配置を「講師Ⅰ」から「教授Ⅰ」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「表現コミュニケーション演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」から「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「表現コミュニケーション演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」から「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」に変更
- ・担当教員の採用、昇任、退職により、「卒業論文・卒業研究」の専任教員の配置を「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」から「教授Ⅷ、准教授Ⅷ、講師Ⅱ、助教Ⅰ」に変更

- (注) ・ ２（１）一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
26 科目	149 科目	13 科目	188 科目	26 科目	158 科目	13 科目	197 科目	
				[]	[+9]	[]	[]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計				
	校舎敷地	38,943.20㎡	5,700㎡	48,783㎡	93,426.20㎡				
	運動場用地	㎡	3,249.89㎡	㎡	3,249.89㎡				
	小 計	38,943.20㎡	8,949.89㎡	48,783㎡	96,676.09㎡				
	そ の 他	㎡	492.14㎡	㎡	492.14㎡				
	合 計	38,943.20㎡	9,442.03㎡	48,783㎡	97,168.23㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	11,677.42㎡ (11,677.42㎡)	13,796.08㎡ (13,796.08㎡)	11,159.64㎡ (11,159.64㎡)	36,633.14㎡ (36,633.14㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	12室	2室	1室	2室 (補助職員 人)	0室 (補助職員 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	現代文化学部文化コミュニケーション学科		23 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	現代文化学部	125,554 [12,013] 111,781 [11,931]	1,793 [50] 1,784 [54]	2 [0]	2,914 2,909	3	0	「学部単位での特定が不能な ため、武蔵ヶ丘キャンパス (2学科分)の数」(30) 資料を受入したため(2) 資料を受入したため(元)	
		115,989[12,129] 114,579 [11,896] 112,554 [11,713] (98,781 [11,631])	1,783[48] 1,783 [48] (1,774 [52])	(0 [0])	2,654 2,626 2,614 (2,609)	(0)	(0)		
	計	125,554 [12,013] 111,781 [11,931]	1,793 [50] 1,784 [54]	2 [0]	2,914 2,909	3	0	資料を受入したため(2) 資料を受入したため(元)	
	115,989[12,129] 114,579 [11,896] 112,554 [11,713] (98,781 [11,631])	1,783[48] 1,783 [48] (1,774 [52])	(0 [0])	2,654 2,626 2,614 (2,609)	(0)	(0)			
(6) 図 書 館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数						
	977㎡ 898㎡	100	120,000	書庫を改修したため(30)					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要							
	2,472㎡	-							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・「学部単位での特定が 不能なため、現代文化学 部、文化言語学部の2学 部全体の数」 ・届出時は、個人一人当 たりの購入費として誤記 入したため
		教員1人当たり研究費等	100千円	90千円 100千円	図書購入費	3,650千円 200千円	3,200千円 320千円	3,200千円 220千円	
		共同研究費等	0千円	0千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当 り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,110千円 1,060千円	840千円	840千円	840千円	- 千円	- 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、手数料収入、雑収入 等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	尚綱大学										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
≪AC対象学部等≫ 現代文化学部 文化コミュニケーション学科	4	75	-	300	学士(文学)	0.55	0.61	-	平成30年度	熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1	
生活科学部 栄養科学科	4	70	3年次10	300	学士(栄養学)	1.13	1.16		平成18年度	熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	
文化言語学部 文化言語学科	4	-	-	-	学士(文学)	-			昭和50年度	熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1	平成30年学生募集停止
大学全体		145	20	600	-	0.83	-	-	-	-	
大学の名称	尚綱大学短期大学部										備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
総合生活学科	2	80	-	160	短期大学士(生活学)	0.58	0.65		昭和27年度	熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	平成29年度より定員を100人→80人
食物栄養学科	2	80	-	160	短期大学士(食物栄養学)	0.93	0.96		昭和42年度	熊本県熊本市中央区九品寺2丁目6-78	
幼児教育学科	2	150	-	300	短期大学士(幼児教育学)	0.98	1.08		昭和43年度	熊本県菊池郡菊陽町武蔵ヶ丘北2-8-1	
大学全体		310	-	620	-	0.86	0.94				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<現代文化学部文化コミュニケーション学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

【令和元年度】

【令和2年度】

【令和3年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
専	教授	林田 俊一郎 (61) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書史Ⅰ アジア書史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	林田 俊一郎 (61) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書史Ⅰ アジア書史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	林田 俊一郎 (62) <平成30年4月>	課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書史Ⅰ アジア書史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	林田 俊一郎 (63) <平成30年4月>	名跡鑑賞 書写・書道Ⅰ 書写・書道Ⅱ アジア書史Ⅰ アジア書史Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	教授	武田 昌憲 (62) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化論 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	武田 昌憲 (63) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化論 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	武田 昌憲 (64) <平成30年4月>	熊本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化論 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	武田 昌憲 (65) <平成30年4月>	熊本学 基礎セミナー ※ 日本文学史Ⅰ 言語表現文化論入門 文学研究概論 声の文化論演習Ⅱ 日本伝統文化史講義Ⅰ 日本伝統文化史講義Ⅱ 日本伝統文化論 熊本の文化Ⅰ 熊本の文化Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	教授	中川 明夫 (58) <平成30年4月>	初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 熊本国際交流史 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	中川 明夫 (58) <平成30年4月>	初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	中川 明夫 (59) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ(韓国語) 海外語学研修Ⅱ(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	中川 明夫 (60) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 初級韓国語Ⅰ 初級韓国語Ⅱ 初級韓国語Ⅲ 初級韓国語Ⅳ 韓国語コミュニケーションⅠ 海外語学研修Ⅰ(韓国語) 海外語学研修Ⅱ(韓国語) アジア事情 ※ 検定韓国語Ⅰ 検定韓国語Ⅱ 検定韓国語Ⅲ 韓国社会文化論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	
専	教授	小沢 日美子 (5) <平成30年4月>	クリティカル・リーディング 女性と社会 生涯発達心理学 教育心理学 質的調査法 プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 課題探求プロジェクト演習Ⅰ 課題探求プロジェクト演習Ⅱ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究													
専	教授	所 吉彦 (56) <平成30年4月>	クリティカル・シンキング 経済と社会Ⅰ 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	所 吉彦 (56) <平成30年4月>	クリティカル・シンキング 経済と社会Ⅰ 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究	専	教授	所 吉彦 (57) <平成30年4月>	クリティカル・シンキング 社会コミュニケーション論入門 マーケティング論 社会コミュニケーション実践論 地域マネジメント研修Ⅰ 地域マネジメント研修Ⅱ 観光総論 ※ 観光実務 ※ 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究					
専	教授	桑原 芳哉 (56) <平成30年4月>	読書と豊かな人間性 生涯学習概論 児童サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 図書館情報技術論 図書館制度・経営論 図書館サービス概論 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館実習	専	教授	桑原 芳哉 (56) <平成30年4月>	図書館概論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 図書館制度・経営論 情報サービス演習(A) 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館実習	専	教授	桑原 芳哉 (57) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ スタディスキル 図書館概論 図書館情報技術論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 情報サービス演習(A) 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館基礎特論 図書館実習	専	教授	桑原 芳哉 (58) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ スタディスキル 図書館概論 図書館情報技術論 情報サービス論 表現コミュニケーション演習Ⅰ 表現コミュニケーション演習Ⅱ 卒業論文・卒業研究 情報サービス演習(A) 情報資源組織論 情報資源組織演習(A) 情報資源組織演習(B) 図書館情報資源特論 図書館基礎特論 図書館実習	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	
専	教授	釜賀 誠一 (55) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理 I 情報処理 II 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II Webデザイン演習 I Webデザイン演習 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	釜賀 誠一 (55) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理 I 情報処理 II 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II Webデザイン演習 I Webデザイン演習 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	釜賀 誠一 (56) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理 I 情報処理 II 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II Webデザイン演習 I Webデザイン演習 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	釜賀 誠一 (57) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 情報処理 I 情報処理 II プレゼンテーション概論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	
専	教授	竹下 裕俊 (52) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III インターンシップ ビジネス英語 I ビジネス英語 II TOEIC Preparation I TOEIC Preparation II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	竹下 裕俊 (52) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III インターンシップ ビジネス英語 I ビジネス英語 II TOEIC Preparation I TOEIC Preparation II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	竹下 裕俊 (53) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III キャリアデザイン I インターンシップ ビジネス英語 I ビジネス英語 II TOEIC Preparation I TOEIC Preparation II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	竹下 裕俊 (54) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III キャリアデザイン I インターンシップ 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	
専	教授	島山 真一 (47) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 国際日本語 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史 I 映画とアニメーション史 II 映像と音響 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	島山 真一 (47) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 国際日本語 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史 I 映画とアニメーション史 II 映像と音響 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	島山 真一 (48) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 日本語表現論 I 国際日本語 日本語史 ことばと社会 情報メディア表現文化論入門 プレゼンテーション概論 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史 I 映画とアニメーション史 II 映像と音響 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	島山 真一 (49) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 日本語表現論 I 国際日本語 日本語史 ことばと社会 クリティカル・シンキング 情報メディア表現文化論入門 プレゼンテーション概論 映像表現論 メディア文化論 映画とアニメーション史 I 映画とアニメーション史 II 映像と音響 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	
専	准教授	北口 英穂 (44) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV 海外語学研修 (中国語) 検定中国語 I 検定中国語 II 検定中国語 III 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	北口 英穂 (44) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV 海外語学研修 (中国語) 検定中国語 I 検定中国語 II 検定中国語 III 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	北口 英穂 (45) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV 海外語学研修 I (中国語) 海外語学研修 II (中国語) アジア事情 ※ 検定中国語 I 検定中国語 II 検定中国語 III 東アジア関係史 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	教授	北口 英穂 (46) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 東アジア近現代史 初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV 総合中国語 海外語学研修 I (中国語) 海外語学研修 II (中国語) 中国語コミュニケーション I アジア事情 ※ 検定中国語 I 検定中国語 II 東アジア関係史 中国社会文化論 台湾社会文化論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	
専	教授	柳田 紀代子 (62) <令和2年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 女性と社会 観光化学入門 地域コミュニティ創造論演習 I 観光総論 課題探求プロジェクト演習 II 地域マネジメント研修 地域マネジメント研修 II 地域コミュニティ創造論演習 II 熊本の文化 II インバウンド・ツーリズム論					専	教授	柳田 紀代子 (62) <令和2年4月>	基礎セミナー ※ クリティカル・リーディング 女性と社会 観光化学入門 地域コミュニティ創造論演習 I 観光総論 課題探求プロジェクト演習 II 地域マネジメント研修 地域マネジメント研修 II 地域コミュニティ創造論演習 II 熊本の文化 II インバウンド・ツーリズム論					
専	准教授	岡田 則浩 (55) <平成30年4月>	クリティカル・リーディング 基礎数学 I 基礎数学 II 基礎統計 I 基礎統計 II 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	岡田 則浩 (55) <平成30年4月>	クリティカル・リーディング 基礎数学 I 基礎数学 II 基礎統計 I 基礎統計 II 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	岡田 則浩 (56) <平成30年4月>	クリティカル・リーディング 基礎数学 I 基礎数学 II 基礎統計 I 基礎統計 II 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究					
専	准教授	宇野(遠山) 文重 (45) <平成30年4月>	政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	宇野(遠山) 文重 (45) <平成30年4月>	政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 女性と社会 人権論 ジェンダー表象論 ※ 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	宇野(遠山) 文重 (46) <平成30年4月>	熊本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 女性と社会 人権論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	宇野(遠山) 文重 (47) <平成30年4月>	熊本学 基礎セミナー ※ 政治と社会 法と社会 日本国憲法 民法入門 人権論 ジェンダー表象論 課題探求プロジェクト演習 I 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名			
専	准教授	Josh Norman (42) <平成30年4月>	クリティカル・リーディング Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II ビジネス英語 I ビジネス英語 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	Josh Norman (42) <平成30年4月>	Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II ビジネス英語 I ビジネス英語 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	Josh Norman (43) <平成30年4月>	Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III 海外語学研修(英語) 課題探求プロジェクト演習 I 課題探求プロジェクト演習 II ビジネス英語 I ビジネス英語 II 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	Josh Norman (44) <平成30年4月>	Communicative Grammar I Communicative Grammar II Communicative Grammar III Communication Workshop I Communication Workshop II Communication Workshop III Fundamentals of English II 海外語学研修(英語) ビジネス英語 I 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			
専	准教授	山川 仁子 (42) <平成30年4月>	応用統計 日本語学概論 音声学 心理言語学 日本語教育文法 日本語教育実習 異文化理解 多文化共生論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	山川 仁子 (42) <平成30年4月>	応用統計 日本語学概論 音声学 心理言語学 日本語教育文法 日本語教育実習 異文化理解 多文化共生論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	山川 仁子 (43) <平成30年4月>	応用統計 日本語学概論 音声学 心理言語学 日本語教育文法 日本語教育実習 異文化理解 多文化共生論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	山川 仁子 (44) <平成30年4月>	応用統計 日本語学概論 音声学 心理言語学 日本語教育文法 日本語教育実習 異文化理解 多文化共生論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			
専	准教授	福永(畠山) 美佳 (40) <平成30年4月>	初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV 中国古典文化論 中国古典文化論講義 I 中国古典文化論講義 II 日中文化交流史 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	福永(畠山) 美佳 (40) <平成30年4月>	初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV 中国古典文化論 中国古典文化論講義 I 中国古典文化論講義 II 日中文化交流史 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	福永(畠山) 美佳 (42) <平成30年4月>	初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 初級中国語 IV 文学研究概論 ビジネス中国語 I 検定中国語 I 中国古典文化論 中国古典文化論講義 I 中国古典文化論講義 II 日中文化交流史 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	福永(畠山) 美佳 (42) <平成30年4月>	初級中国語 I 初級中国語 II 初級中国語 III 中国語コミュニケーション II 総合中国語 文学研究概論 検定中国語 I 検定中国語 II 中国古典文化論 中国古典文化論講義 I 中国古典文化論講義 II 中国社会科学論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			
専	准教授	黄 福 (43) <平成30年4月>	社会調査法 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II アジア事情 ※ 社会調査法実習 I ビジネス中国語 I ビジネス中国語 II 国際関係論 中国社会科学論 東南アジア社会文化論 アジア経済論 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	黄 福 (43) <平成30年4月>	社会調査法 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II アジア事情 ※ 社会調査法実習 I ビジネス中国語 I ビジネス中国語 II 国際関係論 中国社会科学論 東南アジア社会文化論 アジア経済論 熊本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	黄 福 (44) <平成30年4月>	社会調査法 中国語コミュニケーション I 中国語コミュニケーション II 海外語学研修(英語) 社会学概論 アジア事情 ※ 社会調査法実習 I ビジネス中国語 I ビジネス中国語 II 国際関係論 中国社会科学論 東南アジア社会文化論 アジア経済論 熊本国際交流史 ※ 国際社会と女性 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	黄 福 (45) <平成30年4月>	クリティカル・リーディング 社会学概論 海外語学研修(英語) 社会学概論 アジア事情 ※ ビジネス中国語 I ビジネス中国語 II 熊本国際交流史 中国社会科学論 東南アジア社会文化論 熊本国際交流史 ※ 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			
専	准教授	秦 美香子 (39) <平成30年4月>	メディアリテラシー メディア表現論 社会学概論 社会調査法実習 II アート表現論 I アート表現論 II 情報社会学 マンガ表現論 I マンガ表現論 II 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究															
				専	准教授	三浦 知志 (41) <平成30年4月>	日本語表現 I 日本語表現 II クリティカル・リーディング メディアリテラシー 課題探求プロジェクト入門 社会学概論 プレゼンテーション概論 プレゼンテーション演習 アート表現論 I アート表現論 II 情報社会学 マンガ表現論 I マンガ表現論 II 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	三浦 知志 (42) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 日本語表現 I 日本語表現 II 国際日本学 メディアリテラシー 課題探求プロジェクト入門 メディア表現論 キャリアデザイン II プレゼンテーション演習 ジェンダー表象論 ※ アート表現論 I アート表現論 II 情報社会学 マンガ表現論 I マンガ表現論 II 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究	専	准教授	三浦 知志 (43) <平成30年4月>	基礎セミナー ※ 日本語表現 I 日本語表現 II 国際日本学 メディアリテラシー 課題探求プロジェクト入門 クリティカル・シンキング メディア表現論 ジェンダー表象論 ※ アート表現論 I アート表現論 II 情報社会学 マンガ表現論 I マンガ表現論 II 文化社会学 ソーシャルメディア論 表現コミュニケーション演習 I 表現コミュニケーション演習 II 卒業論文・卒業研究			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮園 博光 (52) <平成30年4月> アドミニストレーション入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	宮園 博光 (52) <平成31年4月> アドミニストレーション入門
兼任	講師	広瀬 美貴子 (53) <平成30年4月> キャリア形成入門
兼任	講師	水谷 江美子 (53) <平成30年4月> 図書館情報技術論
兼任	講師	津村 秀夫 (63) <平成31年4月> 情報サービス演習(B) 図書館情報資源概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井寺 美穂 (39) <平成31年4月> アドミニストレーション入門
兼任	講師	広瀬 美貴子 (54) <平成30年4月> キャリア形成入門
兼任	講師	津村 秀夫 (64) <平成31年4月> 情報サービス演習(B) 図書館情報資源概論 図書館制度・経営論
兼任	講師	那須 弘 (60) <平成31年4月> 観光産業論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井寺 美穂 (40) <平成31年4月> アドミニストレーション入門
兼任	講師	広瀬 美貴子 (55) <平成30年4月> キャリア形成入門
兼任	講師	津村 秀夫 (65) <平成31年4月> 情報サービス演習(B) 図書館情報資源概論 図書館制度・経営論
兼任	講師	那須 弘 (61) <令和2年4月> 観光産業論
兼任	講師	小栗 武史 (44) <令和2年4月> 経済と社会Ⅲ
兼任	講師	津田 紀宏 (37) <令和2年4月> 基礎数学Ⅰ 基礎数学Ⅱ
兼任	講師	山田 光輝 (48) <令和2年4月> プレゼンテーション演習
兼任	講師	小島 義康 (44) <令和2年4月> webデザイン演習Ⅰ webデザイン演習Ⅱ
兼任	講師	藤原 幸二 (37) <令和2年4月> 基礎統計Ⅱ
兼任	講師	高埜 健 (60) <令和2年4月> 国際関係論
兼任	講師	岩見 龍二郎 (56) <令和2年4月> 観光実務
兼任	講師	小笠原 淳 (46) 日中文化交流史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任・兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の誕生日を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・秦 美香子准教授就任辞退に伴い、平成30年4月 三浦知志を准教授に採用
- ・平成30年4月 山本 歩を助教に採用
- ・平成30年4月 水谷 智彦を助教に採用
- ・平成30年4月川上（多田）知里助教が休職（育児休業）

【令和元年度】

- ・平成31年3月 川上（多田）知里助教が自己都合により退職
- ・平成31年4月 水谷 智彦助教が生活科学部助教へ配置換
- ・令和2年3月 所 吉彦教授が自己都合により退職
- ・令和2年3月 岡田 則浩准教授が任期終了により退職

【令和2年度】

- ・令和2年4月 柳田 紀代子を教授に採用
- ・令和2年4月 北口 英穂を教授に昇任

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
9	8	2	1	20	0	9	6	2	1	18	0
(8)	(8)	(2)	(3)	(21)	(0)						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
9	6	2	1	18	0	9	6	2	1	18	0
[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]	[0]	[Δ2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ 1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{20} = \boxed{90} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員等理由

(3) ① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

Table with columns: No., Name, Position, Reason for Resignation, and Replacement Status. Includes a summary table for the total number of staff and replacement counts.

- 注) 許可済又は届出済出陣。就任を辞退した全ての専任教員の就任理由を具体的に記入してください。
・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
・「就任辞退(未就任)」の理由(「就任辞退の理由等及び」)書で報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとの状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

(3) ② 専任教員就任の理由及び後任補充状況

Table with columns: No., Name, Position, Reason for Appointment, and Replacement Status. Includes a summary table for the total number of staff and replacement counts.

- 注) 一度就任した後に、**定数による退職以外の理由で退職した全ての専任教員**について記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに就任等した場合は、赤字にて記入するとともに、「就任等の理由」に就任理由等及び() 書で報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとの状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

(3) ③ 上記(3) ①・(3) ②の合計

Summary table for the total number of staff and replacement counts from sections 3-1 and 3-2.

(3) ④ 設置時の計画に対する教員就任率

(3) ③合計(Q)÷(F)
(2)一次設置時の計画(A) = 6 / 20 = 30 %

- 注) 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

Table with columns: No., Name, Position, Reason for Resignation, and Replacement Status. Includes a summary table for the total number of staff and replacement counts.

- 注) **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・昨年度の報告後から今年度の報告時までには専任教員が新たに就任等した場合は、赤字にて記入するとともに、「就任等の理由」に就任理由等及び() 書で報告年度を記入してください。
・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとの状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員の担当授業科目は、原則、後任補充により対応することとしているが、人気の高い研究領域であったり、需要供給のバランスが取れていない研究領域等の教員の採用については、教員の確保が地方では特に難しく、そのため、ただちに後任補充出来ない等の事情もあることから、専任教員、業務及び非常勤講師により対応している。また、学生への周知方法は、教員システムのシラバスにより詳しく周知を図っている。

- 注) 上記(3)の専任教員就任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時	<p>・ 尚綱大学短期大学部総合生活学科の定員充足率の平均が0.7倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。</p>	留意事項	<p>学生確保に向けて、教育内容及び学生支援等の充実強化を図り、地元企業への確実な就職と退学者防止の効果を保護者や高校の先生方に周知するように努めた。具体的には、金融系就職支援講座、公務員対策講座に力を入れ、地元金融機関や公務員への就職を増やした。また、退学防止対策班を組織し、きめ細やかな学生対応と保護者会の実施など家庭との連絡を密にして退学者ゼロを達成した。これらの内容を年4回実施する高校訪問で学科独自のチラシ等を作成しアピールした。学生の出身高校には、高校訪問時に学生生活の様子を「総合生活学科ニュースレター」として定期的に卒業まで報告している。保護者対応では、オープンキャンパス時に、説明と共に個別面談を実施している。高校生向けにはオープンキャンパスで在学生との交流で学生生活への不安解消に努め、2年間の学びと将来像をイメージできるように工夫している。平成29年度は入学定員超過率は0.72、平成30年度は0.91に回復した。なお、平均入学定員超過率は、0.81となる。</p> <p>(総合生活学科) 平成29年度入学者数：58人、平成30年度入学者数：73人 入学定員：80人</p>	履行済
設置計画履行状況調査時 (令和元年度)			<p>令和元年度における改善計画として示した事項について、次のとおり実施した。</p> <p>1. 教育内容を充実し、学部の魅力を高める。 ①情報メディア文化領域の教育内容の充実を図るため、個人でのマンガ資料の収集、単行本や雑誌記事の執筆、熊本県内外でのマンガ資料展等の企画など、マンガに関して顕著な活動実績がある現職の</p>	<p>入学定員未充足に対する今後の改善計画について、昨年度の履行状況及び入試実績を受けて、学部の教育内容の充実や広報活動の強化などを以下のとおりに実施する予定である。特に充実強化を図る内容としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 外国語教育内容の充実 ・ マンガ・アニメ関係など情報メディア文化領域及び観光文化領域の内容の充実と魅力度向上 ・ ビジネス関連の実践的な教育の充実

合志マンガミュージアム館長を客員教授として招聘した。また、情報メディア文化領域の教育内容について、オープンキャンパスなどの機会を通じて高校生にアピールを行った。

②社会調査士、観光ビジネス実務士及びプレゼンテーション実務士といった現代文化学部で取得可能な資格と卒業後の進路について、オープンキャンパスや学部ホームページなどによって周知を図った。

③観光文化領域の教育内容の充実を図るため、熊本県庁において「くまモン」PRの中心的役割を担う部署での課長等を歴任し、熊本県庁の観光・地域振興関係の管理職のほか県内ホテルでの館長も務めた豊富な実務経験を有する教員を新たに採用した。また、各領域の学修内容と想定される進路の関係について、オープンキャンパスや学部ウェブサイトを活用して高校生等への周知を行った。

④外国語及び外国文化の学習機会の拡大を図るため、新たに中国（上海杉達学院）及びマレーシア

（Southern University）の大学との協定を締結し、交換留学、短期語学留学及び語学研修のプログラムを開始した。中国（上海杉達学院）からは、令和元年9月から令和2年2月まで2名の交換留学生を受け入れた。また、マレーシア

（Southern University）へは、令和元年9月に5名が短期語学留学に、令和2年2月に8名が研修旅行に参加し訪問した。さらに、韓国（済州大学校）との協定締結に向けた調整を進めたほか、英語圏の新たな連携先として米国内の大学について調査を進めた。

2. 学部のキャンパス移転を行い、利便性向上、併設高校等との連携強化を図る

・SNS、ウェブサイトの活用やイベントの開催などによる高校生への働きかけなどを企画し、学部の特性を強くアピールしていく。

具体的には次のとおりである。

1. 教育内容を充実し、学部の魅力を高める。

4 領域による専門教育及びより実践的な教育の実施に関して、次のとおり教育内容の充実を図る。

①語学に関する学修意欲の向上を図り、高度な語学力の獲得を進めるため、英語・中国語・韓国語の基礎的な科目の充実、及び高度な英語力を持つ学生を対象とした授業方法の改善を進める。

②情報メディア文化領域及び観光文化領域について、各領域の学びを活かした進路をより具体的に提示し、教育内容と進路の関係を明示することにより、学部の魅力をイメージできるような活動を進めるとともに、地域が求める人材に合致した教育内容であることを周知する。

③観光文化領域の学修内容に関連した熊本県内行政機関及び観光関係団体との連携を強化し、観光関係の学修の充実を進めるとともに、現代文化学部が「熊本の観光振興」に貢献できる存在であることをアピールする。特に、新たに着任した観光文化領域担当教員（元熊本県庁職員）を中核として、熊本県PRキャラクターとして著名な「くまモン」に関する講座を開設し、地域との連携を強化するとともに、メディアへの露出機会の拡大を図る。

④英語圏における語学留学先について、米国内での新たな連携先を開拓するほか、韓国における交流協定先の大学を追加し、国際交流の相手先及び内容の拡大を図る。

○ 入学定員未充足の改善に努めること。
(現代文化学部文化コミュニケーション学科)

指摘事項
(改善)

①移転先である九品寺キャンパスでオープンキャンパスを開催した。来場者数は平成30年度と比較して54名増加し、利便性の向上に対する期待が大きいことが確認できた。

②尚綱高校における高大連携授業の実施、「尚綱ビブリオバトル」「外国語スピーチコンテスト」などの学部イベントへの尚綱高校生徒の参加などの取り組みを行った結果、令和2年度の尚綱高校からの内部進学者は9名となり、平成31年度の5名から増加した。

③令和元年11月に九品寺キャンパス大学7号館を着工し、講義室等の教室、学生用のラウンジ、研究室などのレイアウトや備品等の検討など、移転のための準備に着手した。大学7号館は令和3年1月頃完成予定であり、令和3年3月までに移転を完了させる予定である。

④キャンパス移転について、大学ウェブサイトへのPRページの開設、市内バスターミナルへのポスター掲示、チラシの作成と県内高校への配付等によるPRを行い、周知を図った。

⑤移転後の短期大学部総合生活学科との合同授業の実施について、英語科目、韓国語科目及び観光文化関係科目といった、実施する授業科目について調整を進めた。

3. 広報活動を強化する。
①当初予定していた学部オリジナルリーフレットに代えて、九品寺キャンパスへの移転計画の周知と併せた学部PR用チラシを作成し、入試アドバイザー及び学部教員により、熊本県内高校に配付した。

②大学のウェブサイトを活用した学部の情報発信について、授業内容やイベントの紹介のほか、教員の研究内容や学生の活動など、学部の特徴的な取り組みに関する情報発信を行った。学部からの「ニュース」については、年間48回、週1回程度の更新を行った。

③高大連携授業及び出前授業を活用し、マンガ・アニメなどの情報メディア文化領域、観光文化領域、中国語や韓国語など、現代文化学部の特徴的な教育内容について、高校生への教育内容の紹介を行った。

⑤新たに招聘した客員教授(合志マンガミュージアム館長)による講座や授業内での特別講義の実施、高校生を対象とした「マンガ・イラスト作品コンテスト」の開催など、特に高校生に関心が高いマンガ・アニメを中心に、情報メディア文化領域の教育内容の充実を図るとともに、学部のPRにつなげる。

⑥熊本県内に存在するマンガ・アニメ関係施設等の調査や、合志市及び福岡県北九州市の「マンガミュージアム」の見学、県内観光施設での現地研修など、学生の興味関心に応じた学修内容・方法の工夫を図り、「楽しく学ぶ」という点の魅力向上を進める。

⑦Webデザイン、プレゼンテーション等の授業について、当該業務に従事している実務家教員による授業を行い、ビジネスの現場で有益な実践的授業の充実を進める。

履行中

2. 学部のキャンパス移転を行い、利便性向上、併設高校等との連携強化を図る。

九品寺キャンパスへの学部移転については、令和2年度中の実施を予定しており、移転に伴う入学定員未充足の改善策に引き続き取り組む。

①大学Webサイトやチラシ等によるPRを積極的に展開し、移転の周知を図る。

②交通アクセスの利便性を活かし、県内外からの志願者・入学者の増加を図る。

③同一キャンパスにある併設高校との高大連携を継続して実施し、内部進学者の増加を図る。

④短期大学部総合生活学科など、移転後の他学部・学科との合同授業の実施について検討を進め、特に総合生活学科との関係強化を図り、現代文化学部に興味を示す同学科からの編入学生の増加を図る。

④令和元年6月及び7月に開催したオープンキャンパスのほか、高校生を対象とした「ビブリオバトル」をオープンキャンパスに合わせて7月に、また「外国語スピーチコンテスト」を11月の学園祭に合わせて開催し、教育内容の周知と併せて学部知名度の向上を図った。

⑤ウェブ広告や「LINE」での情報発信、マンガ等をキーワードとしたバナー広告の掲載、DSP広告による直接勧誘など、高校生が親しみやすいメディアでの学部のPRを行った。

この結果、令和2年度入試における志願者は前年度に比べて30人増の94人となり、現代文化学部開設後初めて入学定員（75人）を上回った。しかしながら入学者は前年度比7人増の45人に留まった。引き続き、入学者のさらなる増加に結びつけることが課題と認識している。

3. 広報活動を強化する。

現代文化学部の知名度の向上、教育内容の周知を図るため、引き続き次の取り組みを行う。

①入試アドバイザーによる高校訪問の結果に基づく意見を受けて、高校生を対象として現代文化学部の魅力を伝える。

②大学のウェブサイトを活用した学部の情報発信について、特徴的な授業、学部のイベント、教員の研究内容及び学生の活動などの紹介についての情報発信を引き続き積極的に行う。学部からの「ニュース」については、概ね週1回の更新を行う。

③中高大連携授業を活用し、中国語や韓国語、観光分野など、現代文化学部の特徴的な教育内容について、高校生への教育内容の紹介の機会を拡大できるよう働きかけを行う。

④昨年度のオープンキャンパス参加者数、特に高校2年生・1年生の参加者数の増加を受けて、今後の志願者の増加が見込まれることから、オープンキャンパス、またはウェブサイトを活用したオープンキャンパス等の情報発信への参加者を含めた高校生に向けた直接の資料送付等により密度を高めた広報活動を行う。

⑤オープンキャンパスまたはウェブサイトを活用したオープンキャンパス等の情報発信のほか、高校生を対象としたイベントについて、昨年度までの「ビブリオバトル」「外国語スピーチコンテスト」「尚綱大学文学賞」に加えて、新たに「マンガ・イラスト作品コンテスト」を開催し、県内高校生に対して参加を呼びかける。特に、マンガ・アニメに関心を持つ高校生に強くPRができるよう、イベントの周知を通して、教育内容の周知と併せて学部知名度の向上を図る。

7 その他全般的事項

<現代文化学部文化コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

本学では、SD（スタッフ・ディベロプメント）及びFD（ファカルティ・ディベロプメント）を教職員の資質向上を積極的に推進するため、全学的機関として「SD・FD委員会」を設置し、教育研究活動等の適切かつ効果的な運営並びに授業内容及び方法の改善を行っている。

また、SD・FD委員会の下部組織として「SD推進部会」「FD推進部会」をそれぞれ設置し、年間計画に基づく具体的な諸活動を推進している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

なお、関連会議の構成員は以下のとおりであるが、令和元年度は、SD・FD委員会は年2回、SD推進部会は年1回、FD推進部会は年8回開催するなど鋭意活動している。

【SD・FD委員会】

学長、学長補佐、学部長、短期学部長、学科長、学園事務局長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、大学企画室課長

【SD推進部会】

学部長、短期学部長、学科長、大学事務局長、学園事務局総務部長、事務部長、大学企画室長、大学企画室課長

【FD推進部会】

学部長、短期学部長、学科長、学科選出教員各1名、教務課長、大学企画室長、大学企画室課長

c 委員会の審議事項等

【SD・FD委員会】

- 1) SD・FDの基本方針策定
- 2) SD・FDの単年度事業計画及び中長期計画の策定
- 3) その他教職員の能力開発に関し必要なこと

【SD推進部会】

- 1) SDの実施計画策定
- 2) 大学運営に必要な知識及び技能を身に付け、能力及び資質を向上させるための諸施策の企画及び実施
- 3) その他SD推進に必要なこと

【FD推進部会】

- 1) FDの実施計画策定
- 2) 授業内容及び方法の改善を図るための諸施策の企画及び実施
- 3) その他FD推進に必要なこと

② 実施状況

a 実施内容

- 1) SD研修会
- 2) FD研修会
- 3) 教員相互の授業参観（オーブncラス・ウィーク）
- 4) 授業改善アンケート
- 5) 新任教員のための研修会

b 実施方法

- 1) SD推進部会で年間計画を策定し、学内での開催及び学外で開催される研修会へ参加している。
- 2) FD推進部会で研修内容を検討の上、年2回開催している。
- 3) 年に1回、3週間の期間を設けて原則全授業を公開し、教員が相互に参観してレポートを提出している。
- 4) 前・後期に各1回、原則、開講された全科目を対象として実施している。
- 5) SD及びFD活動に関する内容も含めた研修会を4月に実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<令和元年度実績>

- 1) 学内研修会を14回開催（うち、新入事務職員のみを対象とした研修会が6回）、学外研修会には15回参加。なお、平成30年度の教員参加は学内研修会のみであり、全ての回において参加対象教職員の半数以上が参加。
- 2) 9月に「良い授業を創るために～授業の中で工夫していること～」をテーマに幼児教育学科及び食物栄養学科教員が講師となり、授業中に工夫していることについての発表、グループディスカッションを実施した（参加者35名）。
- 3) 10月末から11月上旬に実施し、全教員が参観した。
- 4) 前・後期に各1回実施。また、後期の中間に任意で1回実施。
- 5) SD及びFDに関する研修は、平成30年度から実施しており、新任教員は全員参加。

※「教員の参加状況」は、教授から教員助手までの実績を示す

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度から「授業改善アンケート」を各期中間の授業回に実施し、当該授業へのフィードバックを行う。オーブncラス・ウィークについては、事務職員による任意参観も実施し、教員以外からの視点の取り入れを図る。また、アクティブ・ラーニングに関する研修会を継続し、授業への取り入れを促進する。令和元年度の諸活動として、教職員の資質向上のため採用年数別、教務システム、ハラスメントやコンプライアンスをテーマにSD研修会を年間延べ20日間開催のほか、「良い授業を創るために～授業の中で工夫していること」、「良い授業を創るために～ICT教育の実践～」など教育の質の向上をテーマにFD研修会を年2回開催した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

平成30年度から各期6～9回目の授業で実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

各科目の担当教員による「分析・評価」及び「今後の取り組み」が記載された科目別集計票を、学内専用サイトで期間を限定し公開している。

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和元年度は、現代文化学部設置2年目として『尚綱大学現代文化学部設置届出書』に記載した計画に基づき、適正な変更を加えながら、授業の開講等学部の運営にあたった。入学者に対しては昨年度に引き続き作成した『現代文化学部履修ガイド2019』を配付し、また2年生については入学時に配付した『履修ガイド』などを活用して、各学年のカリキュラムについての履修指導を行った。

入学者の定員未充足の状況に対しては、学部及び入試センターにおける検討を行い、現代文化学部の周知活動に努めた。九品寺キャンパスへの移転を踏まえ、6月及び7月に開催したオープンキャンパスについては九品寺キャンパスでの開催としたことにより、昨年度よりも参加者が54名増加した。また高校生を対象とした「外国語スピーチコンテスト」などを初めて開催するなど、現代文化学部の専門領域の学びに関連する企画を実施することにより、学部の教育研究活動の成果と魅力を伝え、学生確保に取り組んだ。しかしながら令和2年度入学者については、前年に引き続き定員未充足となった。

今後は、現代文化学部の教育研究活動等に関する情報発信をさらに積極的に行うとともに、学部の九品寺キャンパスへの移転による魅力度向上を図り、学生確保に繋げていく。また、教育内容及び方法についても充実を図り、設置の趣旨・目的に沿った人材育成と共に入学者が満足できるような新学部の活動の充実に努めたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年11月7日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・平成29年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受診し、平成30年3月に「大学評価基準に適合していると認定する」との評価結果を受けている。評価結果は、日本高等教育評価機構及び本学のホームページにて公表済み。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (令和3年 3月31日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。